



田端中だより

令和3年7月1日
北区立田端中学校
校長 浦山 裕志

<教育目標>

人権尊重の精神を培い、
国際社会と地域社会に活躍する生徒を育てる

<目指す生徒像>

自他を愛しむ生徒
生命を尊ぶ健やかな生徒
自ら学び、自己実現を目指す生徒

2年生への期待

校長 浦山 裕志

関東地方の梅雨が観測史上最も早く開けてしまいました。地球温暖化に伴って本来であればさわやかな季節に雨が続き、暑さ寒さが突然入れ替わったりするような気候変動が起きています。農作物の分布や水産資源の漁場にも変化が出ているそうです。

今年度、本校栄養士と「旬の食べ物」を意識した献立作りを通じて食育を進めようと相談しました。諸物価高騰の折ではありますが、創意工夫して「47都道府県メニュー」や「世界の料理・TOKYO2020バージョン」と並ぶ特色に育てていきたいと考えます。

さて、7月は特別授業や学校行事が続きます。道徳授業地区公開講座やセーフティ教室（内容は最終面 Teacher's Eye）の他、19日には「東京2020レガシー講演会」として東京五輪競泳日本代表 長谷川涼香選手（本校第7期卒業生）をお招きする予定です。

また、1年生は岩井臨海学園に向けての事前準備があります。3年生は大切な夏を控えて、進路への心構えを確認する私との面接練習に臨みます。

そして2年生は「職場体験」に3日間出かけます。2年間ブランクが空きましたが、地域の公共機関や事業所のご協力を得られたことに感謝を申し上げます。

この職場体験は昨年度の「田端中ハローワーク」から始まり、今年度は9月10日に行うハローワークに再びつながっていきます。そして3年生になってからも、自らの将来を見据えた進路選択に活かすなど、こころざし高く歩み続ける生徒を育てるねらいがあります。3年間を見通した本校のキャリア教育の中核に位置付けておりますので、お店などで生徒の姿を見かけましたら励ましのお声がけをいただけますと幸いです。

すでに多くの部活動で3年生が大会を終え、2年生がチーム作りのリーダーシップを発揮するようになりました。夏が終わると生徒会本部役員選挙があり、専門委員会の委員長も94人の仲間の中から選ばれます。

中堅学年の成長は学校全体の活力を高めてくれます。大いに期待しています。

6.5~7 3年生が修学旅行に出かけました

運動会で最高学年として全力を出し切ってからわずか1週間後の修学旅行でした、運動会準備と同時並行で事前学習やコース検討を行い当日を迎えました。健康管理や感染症対策もうまくいき、体調不良で班行動に参加できない生徒は出ませんでした。

1日目は奈良で飛鳥・天平の文化に接し、2日目はあいくの雨模様でしたが、各班が機転を利かせながら京都を散策しました。最終日は天気が回復し貸し切りタクシーの運転手さんのガイドを聞きながら思い思いの史跡を巡って3日間を締めくくりました。





北区基礎・基本の定着度調査の結果をお知らせします

City of Kita

調査日 令和4年4月15日(金)
調査対象 全学年
調査内容 国語・社会・数学・理科・英語(1年生を除く)

＜出題範囲＞ 前年度までの学習内容
1年生は「小6まで」
2年生は「中1まで」
3年生は「中2まで」の範囲です。

『目標値』とは? 学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合を示したもの。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されています。

『平均正答率』とは? 正答率(特定の設問に正答した生徒の割合)の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値のことです。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答(部分点)については、正答数を0.5として換算しています。

結果公表は生徒・保護者及び地域関係者が対象です。

学力向上を図るための取組を紹介します

家庭学習ノート《カテガク》

学力向上のためには、学校での授業と家庭での学習を効果的に組み合わせることが大切です。



令和2年度から家庭学習の習慣づくりの一環として、「家庭学習ノート」を始めました。

宿題以外に1日1ページを自主的に学習し、1か月間欠かさず学習した生徒を「パーフェクト賞」として表彰し、学年だよりに名前を掲載します。年間通じて継続した生徒には、全校集会等において「年間継続賞」を授与して努力を称えます。

検定チャレンジ

中学校卒業までに、漢字検定、数学検定、英語検定のいずれかで「3級合格」を目指して検定受験を奨励しています。3年生の第1回までに3級に合格した生徒は、準2級へのチャレンジを勧めています。

北区教育委員会が検定受験料を年間1回補助する事業があります。上手に活用して学力向上につなげています。

入試の際に有利となる高校があります。

少人数指導

数学と英語の授業を「東京方式ガイドライン」に沿って行っています。一部の授業では北区独自の講師「学力パワーアップティーチャー」が教室に入り、教員と2名体制できめ細かく指導しています。

数 学

生徒の理解や習熟の程度等に応じて、効果的な学習集団を編成します。2学級を3グループ、又は、1学級を2グループに分けて少人数で授業を行います。

つまずきのある生徒には前の学年の範囲に戻っての復習などの「補充的な指導」を行い、習熟の早い生徒には難易度の高い課題に挑戦させる「発展的な指導」を行って確かな学力の向上を図ります。

英 語

生徒一人ひとりの発話量を増やし、実際に英語を使用してコミュニケーションを図る活動を充実させています。そのために、25人以下の少人数学習集団による指導を推進するとともに、ペアワークやグループワークなどの学習形態を適宜取り入れながら効果的な授業を展開しています。

少人数指導の目的である「英語が“使える”中学校卒業生」「一定水準の学力の達成と、特に秀でた生徒の英語力の伸長」「外国の人たちに積極的に話しかけ、英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」に向けて、授業の工夫改善を進めています。

祝 バドミントン部 北区夏季総合大会

ブロック大会進出決定

女子 団体優勝
ダブルス優勝

シングルス第2位

<男子> 団 体 第3位
 シングルス 第3位
<女子> シングルス 第3位
 ダブルス 第3位

<生徒名の掲載は控えております>

祝 野球部

北区夏季総合大会

第3位

7 月	
1	金
2	土 土曜授業 道徳授業地区公開講座
3	日
4	月 安全指導
5	火 職場体験[2年]
6	水 ↓
7	木 ↓
8	金 セーフティ教室
9	土
10	日
11	月 生徒会朝礼 岩井臨海学園事前健診[1年]
12	火 SOSの出し方教室
13	水
14	木 避難訓練
15	金 高等学校長の話を聞く会[3年] 田端中いじめ防止の日
16	土
17	日
18	月 【海の日】
19	火 東京2020レガシー講演会 大掃除
20	水 全校集会
21日(木)	夏季休業日始
21日(木)、22日(金)、28日(木)、29日(金)	夏季水泳指導
21日(木)～8月2日(火)	教育相談期間
25日(月)～27日(水)	岩井臨海学園[1年]
8 月	
8日(月)～17日(水)	学校閉庁日
31日(水)	夏季休業日終
9 月	
1日(木)	全校集会

※最新の情報は学年だより等をご確認ください。

※新型コロナウイルスの感染状況により変更になることがあります。

7.5(火)～7(木) 職場体験に出発します[2年]

3年ぶりに2年生の職場体験が復活します。コロナ禍の中、この行事の趣旨をご理解いただき、生徒を受け入れてくださった事業所、施設の皆様に感謝申し上げます。

<HPへの事業所名の掲載は控えております>

Teacher's Eye

7/2(土) 道徳授業地区公開講座

7月2日に実施する道徳地区公開講座は、「人間関係を深めていくとともに、個人としても心豊かな生活を築いていく」というテーマで、各学年「いじめを許さない心を育てる」道徳の授業を行います。

授業後に協議会もありますので、保護者の皆さまも是非ご参加ください。

(道徳担当)

7/8(金) セーフティ教室

今年度のセーフティ教室では滝野川警察署の生活安全課の方に来ていただいて、「中学生の身近に起こる犯罪とその危険性」について講演会を行います。

未就学児、小学生と比べると中学生が犯罪被害者となる件数は倍以上になっています。1人で行動する、広い範囲で行動する機会が増えていることがその一因と言われています。犯罪に巻き込まれないためにも身近な犯罪について学んでいきます。

(安全教育担当)

7/12(火) SOSの出し方教室

7月12日6校時に、本校スクールカウンセラーの森真琴先生による「SOSの出し方教室」を実施いたします。

ストレスとの付き合い方、SOSの出し方をテーマに、全校生徒にお話ししていただきます。この授業を通してSOSの出し方のスキルを身につけさせ、困ったときには信頼できる大人に相談することを伝えたいと思っています。 ※本校の教員は全員、事前にSOSを受けとめるための研修を受けています。

(保健主任)

7/25(月)～27(水) 岩井臨海学園[1年]

今年度、第1学年は7月25日より2泊3日で千葉の南房総にある岩井臨海学園で宿泊行事を行います。行事を通して学年の仲間との親交を深めるだけでなく、ライフセービングプログラムを取り入れた海辺での活動を通して「自他の命の大切さ」について考えていきたいと考えています。

いまだ新型コロナウイルス感染症の不安もありますが、日々の生活の中では体験できない貴重な体験を通して生徒の成長につながる実りの多い行事となるよう頑張ります。

(第1学年主任)